

交通工学ワンデーセミナー, 土木計画学ワンデーセミナー「第82回」

「これからの交通事故リスクマネジメント」

交通事故の起こりやすさ(交通事故リスク)を定量的に評価・算定し、同リスク値を踏まえた適切な交通マネジメントが実施されれば、道路ネットワーク全体の事故件数を削減し、交通の安全性を向上させることが期待できます。

今回のセミナーでは、交通の安全性向上に向けたマネジメント方策に焦点を合わせ、その現状と課題に関して理解を深めることを目指します。加えて高齢社会における安全なモビリティ確保の点にも考慮しつつ、安全性向上の点で効果的な交通マネジメントのあり方を議論します。

◇開催日時 平成29年3月2日(木) 10:00~17:45 (受付開始は9:30より)

◇会場 日本大学 駿河台キャンパス1号館 131教室

〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14

JR中央・総武線 お茶ノ水駅 徒歩3分

東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 徒歩3分、丸ノ内線 御茶ノ水駅 徒歩5分

◇主催 (一社)交通工学研究会 交通事故リスクマネジメントに関する研究委員会

(公社)土木学会土木計画学研究小委員会 (高齢化時代のモビリティ確保を考慮した交通安全研究)

◇募集人員 80名

◇参加費 無料

◇プログラム (プログラム及び講師は変更の場合もございますので予めご了承願います)

10:00~10:10 開会 吉井 稔雄 (愛媛大学)

10:10~11:10 自主研究による研究成果報告 (高速道路会社における事故リスクマネジメント)

- ・首都高速道路における事故リスクマネジメントに関する研究 吉尾 泰輝 (首都高速道路(株))
- ・阪神高速における事故リスクデータの構築と活用について 岩里 泰幸 (阪神高速道路(株))
- ・福岡高速道路における利用頻度からみる事故傾向とその活用の検討 白石 元紀 (福岡北九州高速道路公社)

11:10~11:50 自主研究による研究成果報告 (事故リスクマネジメントに関する研究(その1))

- ・人・道路・車両の暴露度指標を活用した交通事故率の分析 萩田 賢司 (自動車安全運転センター)
- ・生活道路における交通事故リスク分析に向けた基礎的研究 平岡 雄介 (松山河川国道事務所)
- ・リアルタイム事故リスク情報提供システムの構築 大藤 武彦 ((株)交通システム研究所)
- ・新潟都市圏における事故リスクマネジメント研究の進捗と今後の展開 西内 裕晶 (高知工科大学)

昼休み

12:50~14:10 自主研究による研究成果報告 (事故リスクマネジメントに関する研究(その2))

- ・都市高速道路におけるリアルタイム交通事故予測・回避モデルの開発 室町 泰徳 (東京工業大学)
- ・ベイズネットワークを用いた都市高速道路における交通事故要因の抽出 倉内 文孝 (岐阜大学)
- ・事故リスク情報の提供がドライバーの行動に及ぼす影響の分析 倉内 慎也 (愛媛大学)
- ・施設構造などからみた逆走の要因分析 浜岡 秀勝 (秋田大学)
- ・細街路エリアにおける事故リスク要因の分析 塩見 康博 (立命館大学)
- ・一般道路における時間帯交通量別交通事故リスク分析 兵頭 知 (日本大学)

14:10~14:40 高齢社会の自動車利用実態とモビリティの確保

- ・高齢社会における自動車利用実態に関する分析ー静岡都市圏を対象にー 中村 俊之 (京都大学)
- ・高齢社会におけるモビリティ確保に向けた課題 宇野 伸宏 (京都大学)

休憩

15:00~15:45 (講演1) 交通心理学からみた事故リスクマネジメントの可能性 蓮花 一己 (帝塚山大学)

15:45~16:30 (講演2) 交通事故リスクマネジメントの技術的可能性と社会的課題 赤羽 弘和 (千葉工業大学)

休憩

16:40~17:40 パネルディスカッション

コーディネーター: 吉井 稔雄 (愛媛大学)

パネリスト: 蓮花 一己 (帝塚山大学)

赤羽 弘和 (千葉工業大学)

宇野 伸宏 (京都大学)

萩田 賢司 (自動車安全運転センター)

村重 至康 (高速道路総合研究所)

17:40-17:45 閉会

宇野 伸宏 (京都大学)

◇申込方法 メールタイトルを「事故リスクワンデーセミナー」とし、参加者氏名、勤務先(所属部・課名)を明記したメールをsympo2@jste.or.jp宛送信下さい。お申込後の取り消しはご遠慮ください。

◇お問合せ先 (一社)交通工学研究会 TEL: 03-6410-8717 または 050-5507-7153, FAX: 03-6410-8718

定員になり締め切りました